

8-1-10 広報事業専門委員会

1. 主な活動の記録

中期行動計画（2019～2022）で広報事業専門委員会が担務する施策3-1「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」に沿って、2019年度計画を立案し、各委員で分担して下記の事項を実施した。

(1) 広報事業専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（8、3月は休催）

(2) 学生懸賞論文および建コンフォート大賞の募集・表彰

学生懸賞論文および一般対象のフォトコンテスト「第11回建コンフォート大賞」、中・高校生対象のフォトコンテスト「第7回建コンフォート大賞Jr.」を実施した。審査の結果は、会誌「Consultant」および協会ホームページ（以下、協会HP）に掲載した。

(3) 建コンフォート大賞入賞作品の活用による広報活動

8月10日から1週間、首都高川口PA休憩施設内で、今回で7回目となる建コンフォート大賞の入賞作品展示会を開催した。また、学生への直接的広報の機会として、11月3日に開催された日本大学理工学部オープンキャンパスにおける入賞作品展示会を開催した。さらに、今回で3回目となる東京ミッドタウン（六本木）の“富士フィルムフォトサロン東京”における入賞作品展示会「暮らしの中の土木」を1月31日からの1週間で開催した。この他、支部開催のイベントへの入賞作品パネルの貸出、協会HPの建コンフォート大賞ページの作品ギャラリーおよび建コンフォート大賞Jr. 応募作品モザイクアートの更新を行った。



富士フィルムフォトサロン東京での写真展の様子

(4) その他

各号発刊毎に協会誌のモニタリングを行い、意見を会誌編集専門委員会へフィードバックした。また、広報戦略委員会の要請により協会カレンダー製作に伴う作品画像データの収集と提供、「建設コンサルタント白書」のグラビア原稿作成を実施した。

【学生懸賞論文および建コンフォート大賞の審査結果】

a) 懸賞論文（学生論文）

テーマ（2つより選択）

- ①「あなたが市長なら、どのような“まちづくり”をしたいですか？」
- ②「あなたの暮らしを豊かにする土木技術の今と未来」

応募結果 総数：12編

審査結果

特別賞：3編

「水上公共交通を中心とする水都の再生-「待たずに乗れる『水面電車』」の提案-」

芝田 涼希氏（大阪市立大学 工学部都市学科）

「島の宝を運ぶバス運行計画」

原口 玲奈氏（鹿児島大学 法文学部法経社会学科）

「IR候補地有力都市のまちづくり提案～苫小牧市のまちづくり～」

鈴木 凱也氏、山下 広暉氏、奥村 謙二氏
（武蔵野大学 経済学部経営学科）

b) (一般の部)第11回建コンフォート大賞

テーマ「あなたのお気に入りの“土木施設”」

応募結果 総数：304点

審査委員

委員長：宇於崎 勝也（日本大学教授）

審査委員：知野 泰明（日本大学准教授）

八馬 智（千葉工業大学教授）

初芝 成應（日本写真作家協会会員）

野崎 秀則（広報戦略委員長）

審査結果

最優秀賞：1点（長 吉秀氏）

優秀賞：2点（杉山よしお氏、山根 淳市氏）

特別賞：10点

c) (中・高生の部)第7回建コンフォート大賞Jr.

テーマ「“土木施設”を探せ！」

応募結果 総数：130点

審査委員 宇於崎 勝也（一般の部審査委員長）

広報事業専門委員会 委員（10名）

審査結果

Jr. 最優秀賞：1点（清水 莞正氏）

Jr. 優秀賞：2点（片岡 涼美氏、船越久美子氏）

Jr. 特別賞：10点



一般の部
「狩場」長 吉秀



中・高生の部
「JCTの美学」清水 莞正

2. 次年度の活動について

中期行動計画（2019～2022）施策3-1「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」に沿って、学生懸賞論文および建コンフォート大賞募集・表彰、建コンフォート大賞入賞作品の活用による広報を中心に活動する。

（広報事業専門委員会委員長 早川 裕史）